

## 取組検討・実践部会状況報告

## 【取組実践1：川崎フロンターレ親子サッカードリム教室部会】（部会委員9名）

## ○活動報告

部会開催日	議 題
8月1日（火）	①親子サッカードリム教室での関わり方について ②スケジュールについて
9月6日（水）	親子サッカードリム教室における取組内容について
9月8日（金）	実施場所の現地調査（等々力陸上競技場）

## ○実践内容（案）

## ■体験型防災プログラムの実施

開催日：10月15日（日） 場所：等々力陸上競技場

当日、11時～15時の間で開催する「親子サッカードリム教室」の参加者を対象に行う。

内容：下記のとおり

タイトル（仮）	内 容（案）	協力団体
車いす体験	車いす体験を行い、バリアフリーの大切さを学ぶ	川崎市中原区社会福祉協議会 川崎介護福祉士会
ロープ結び	非常時に役立つロープ結びの方法を学ぶ	BS・GS 中原区連絡会
非常時の食事体験	非常時にストックしてある食材を使った食事提案	中原区食生活改善推進員連絡協議会
多言語コミュニケーション	ジェスチャーやカードを使った要望やルールの伝達を体験	川崎市国際交流協会
簡易トイレ	携帯トイレの備え等の啓発	東京ガス㈱
防災クイズ	各ブースに3択の防災クイズを出題し、ゴールにて回答	

※実施区域は別紙2のとおり

## 【取組実践2：中原区総合防災訓練部会】（部会委員7名）

## ○活動報告

部会開催日	議 題
7月27日（木）	①中原区総合防災訓練での関わり方について ②スケジュールについて
9月 8日（金）	①中原区総合防災訓練の実施結果 ②次回の総合防災訓練に向けた部会の取組の方向性について

## ○実践内容

## ■総合防災訓練（大戸地区）への見学

開催日：9月3日（日） 場所：大戸小学校 委員参加：15名

内容：各展示ブースの見学・体験及び避難所開設手順確認案内ツアーの参加  
気づいた点等（委員からのアンケート提出分）⇒ ※別紙のとおり

## ○第2回総合防災訓練への部会の関わり方の方向性（案）

- ①第1回総合防災訓練結果の意見交換による情報共有を踏まえた訓練の見学・体験
- ②特に参加の少ない層への広報の実施
- ③部会としてブースを設置した啓発活動

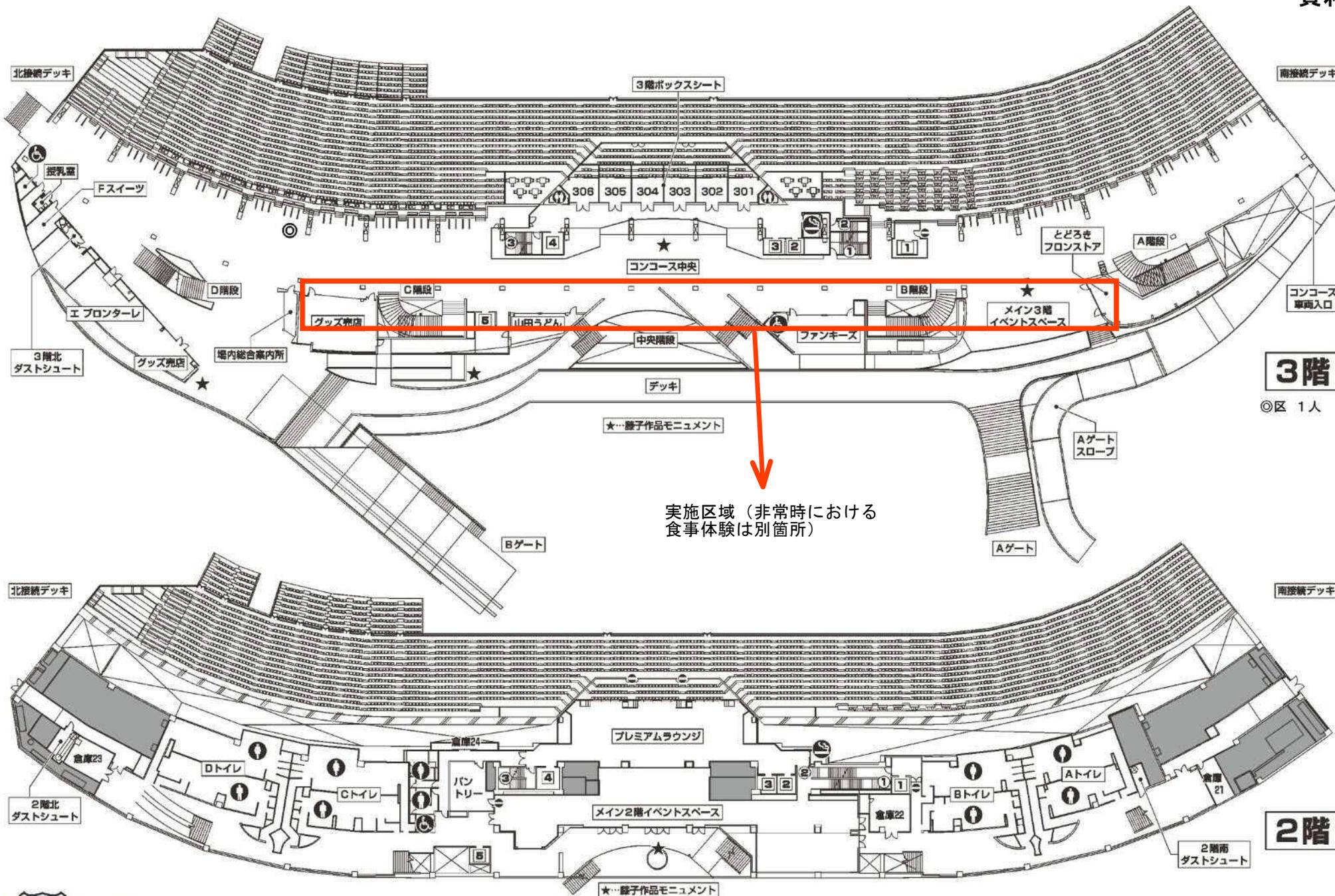
## 【取組実践3：中原区総合防災マップづくり部会】（部会委員11名）

## ○活動報告

部会開催日	議 題
9月15日（金）	①防災マップの概要と背景について ②区民会議意見の反映について ③部会の検討事項

## ○部会報告

- \* 提案内容の反映の方向性の確認
  - \* 部会における委員意見
- } 別紙「中原区総合防災マップづくり部会報告」参照

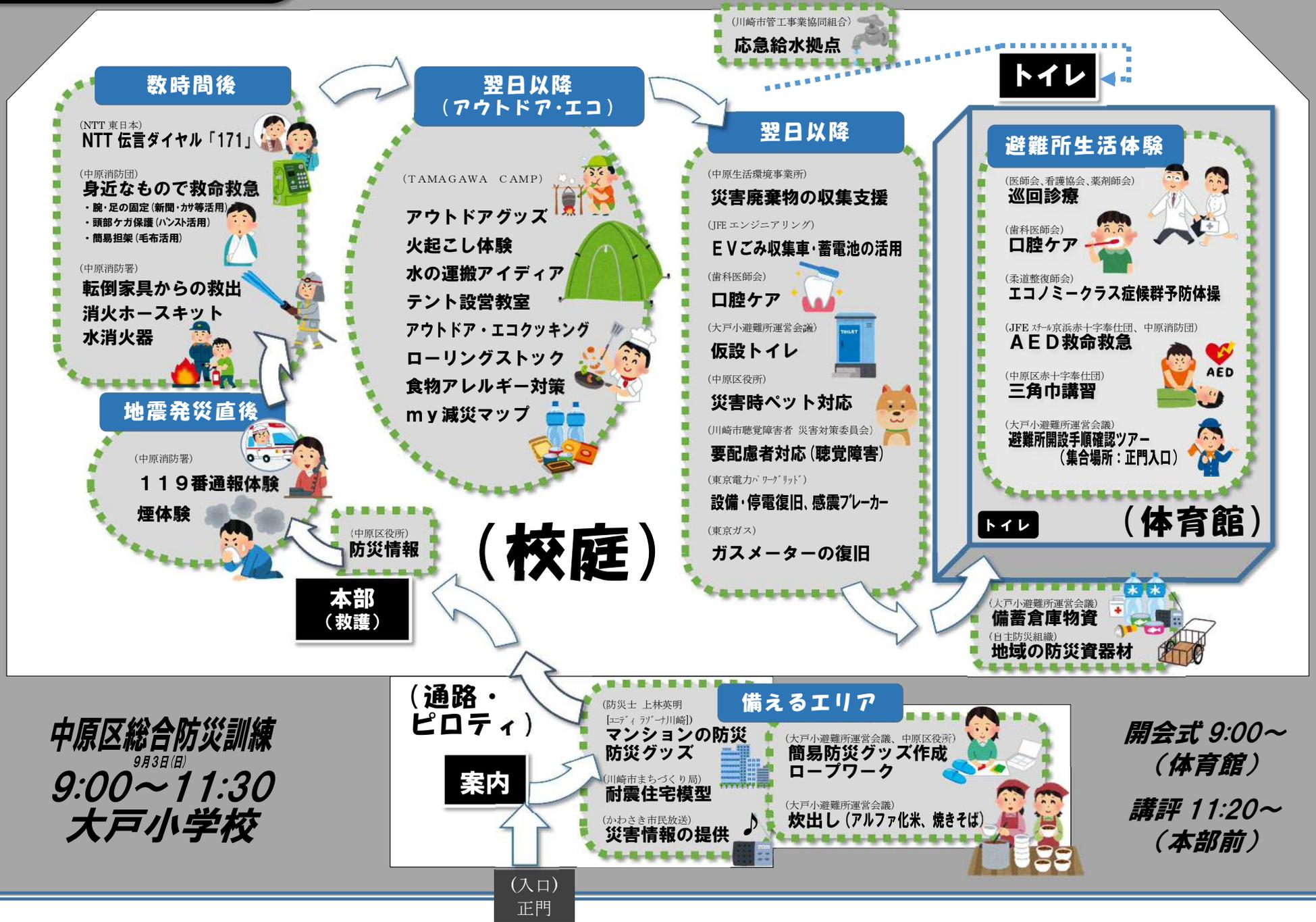


実施区域 (非常時における食事体験は別箇所)



等々力陸上競技場 諸室図【2・3階】

# 会場レイアウト



**中原区総合防災訓練**  
 9月3日(日)  
**9:00~11:30**  
**大戸小学校**

**(通路・ピロティ)**

**案内**

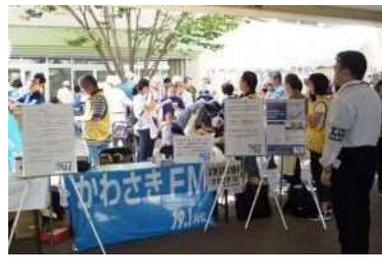
(入口)  
 正門

**開会式 9:00~**  
**(体育館)**  
**講評 11:20~**  
**(本部前)**

## 当日の様子（写真）



開会式



かわさきFM 災害情報



入口付近「備えるエリア」の様子



炊き出し（アルファ化米、焼きそば）



ロープワーク



簡易グッズ作成（新聞紙スリッパ、紙箱）



耐震住宅模型



マンションの防災・防災グッズ



本部・防災啓発資料配布



煙体験



119 番通報体験



水消火器体験



消火ホースキット組立・放水



転倒家具からの救出



身近なもので救命救急



NNTT 伝言ダイヤル171



火おこし体験



アウトドアグッズ紹介



応急給水拠点設置



仮設トイレ組立



ペット対応



要配慮者対応（聴覚障害者）



東京電力・東京ガス



避難所開設手順確認ツアー



避難所倉庫備蓄品の紹介（発電機チャレンジ）



自主防災組織の備蓄物資紹介



巡回診療



口腔ケア



エコミークラス症候群予防体操



三角巾講習



AED 救命講習



消防署長講評

## ◆中原区総合防災訓練(大戸小学校)の気づいた点メモ 区民会議委員記載分

	印象に残った内容や訓練・内容とその理由・感想など	アイデアや意見・疑問点	その他・気付いた点など
	アウトドアグッズが以前のものより大変進化しているのに驚きました。NTTの伝言ダイヤルは初めての体験でした。いろいろなブースがあり良かったです。	被災世帯登録カードは書くのに時間がかかり、行列にならないか？災害が起きた当日はもっと簡単に。例えば、役所の住民台帳などをCDなどに町会ごとに入れて、各避難所の備蓄倉庫の中に入れておくとか！？細かいカードを少し落ち着いて書いていただくことは…カードを町会毎に色分けするなど、何かもっと工夫が欲しいですね。	役所の方、消防署の方、消防団の方、また災害時に必要なグッズ関係の方が多く見られ、住民は少ないように感じた。私の出席時間が遅かったのでしょうか？
	備蓄が3日分。配給が始まるまで3日と想定されているとのこと。避難所がパニック状態となれば、配給延期等となれば、備蓄は持たない。従って、自宅での備蓄・自助について啓発強化が必須だと思いました。"H.10"と書かれた紙おむつの段ボールがあった。中身の状況を、いざという時に使えるか、確認が必要。使えなくなる…ではなく、使えるうちに備蓄の活用も考慮できたら良いと思いました。	ミサイル対応避難マニュアル 避難可能な場所を示した地図	来場者がもっといても良いかと感じました。すでに準備が完全で防災地域体験が不要なのかとも考えにくく、いかに危機感が薄いのか、自分も含めて感じました。「いざというときに」「わからない」ということは「自分や大切な人を守る街をもたないということ。どのように伝えていけば効果的なのか悩みどころです。
	避難所運営に関して、機材や備品などのハード面と、開設から受付に携わるマニュアルのソフト面の両方を理解できました。救命救急・消火・煙体験といった従来型の防災訓練の他に、自主防災のためのローリングストックや災害時のペット対応、簡易防災グッズの作成体験といった「備え」についての様々なアイデアを得られる貴重な機会になりました。	「避難所開設手順確認ツアー」のようなガイドツアー形式を今後もテーマを決めて実施してほしいと思います。区内在住の外国籍の方、障害のある方を対象とした避難所体験ツアーなど盛り込むのも有効ではないでしょうか。それぞれが、バラバラに各ブースを見学するよりも、その対象者にふさわしい、必要性のある情報に絞って案内する方が効果的かもしれません。	自主防災組織の3町会を除いた他の組織からの参加者がどの程度の割合だったのかが気になると思います。事前に広報紙等でもPRされておりまひたが、積極的に参加を呼び掛けるフレーズを、更に盛り込めればと思いました。当日の会場の掲示も、あっさりし過ぎの感もあり、「入場自由、ぜひご参加ください」などのメッセージボードがあっても良いと感じました。
	煙体験…マスクは使用したが、訓練で、しかも若干の明るさを感じ、おおよその距離がわかっていながら、途中不安感が高まった。初めての建物の中で遭遇したらどうなるか。煙対策では、普段からタオルなどを持ち歩くと良いのかなと思った。ペットコーナー…ペット飼育家庭が増えており、ゲージ展示のみでなく、どのような形で災害時に避難所で飼育されるのか、飼育小屋(建物)などの説明があると、飼育者の不安を取り除けるのではないかと。ペットについては、災害時後から大きな問題になっているので。非常食…最初は家庭で備えた食糧を食べるのだが、避難所備蓄の非常食を今回ちょっと食べたが塩分が強かった。一食分食べると喉が渇くのではないかと感じた。水が充分確保できないと思うので、心配		
	避難所開設手順確認ツアーは開設までの仕組みがわかってよかった。煙体験はとても怖かった。実際はもっと大変だろうと推測できて、一回は体験してみるべきだと思った。ペットにまで気を配る余裕があるかと心配していたが、災害のレベルによっては可能な備えがよくわかってよかった。開設者の方は日頃からの備えを含め、大変なご苦労だと思う。避難所として不適切な状況だったらどうするのでしょうか？	避難所へ来て、何をしたら良いか、もっとわかりやすい説明やツアー内容があっても良いのではと思った。災害の段階ごとにブースをまとめてもらうとわかりやすいのでは開設者側の訓練が主であることはわかったが、避難者への対応についても考えた方がよいのでは被災世帯登録カードの内容は、必要最小限を区全体で統一しても良いのではないかと場内アナウンスのしくみあった方が良い。	アルファ米はおいしかったが、備蓄は想定される避難者には足りない事をもっとアピールしながら、配ってもよいのではないのでしょうか。又、焼きそばが食べられるのは災害が起こってからかなりたってからだと思います。
	消防署のブースでキズの手当ての体験は身の周りの物を使っていたのは良かったと思いました。講堂内の日赤の三角布の応急手当、AEDの操作も良かった。けむりの体験は今までと全然違うけむりの強さで怖かったが、良い体験でした。避難所開設、備蓄倉庫も見学できてよかった。	備蓄のための食糧を販売してもらおうと良かった。	各ブースの方々も新設に良く対応してくださいました。もう少し町会(声掛け)を多くしたら良いのではなかったか。(参加者)なかなか体験する機会がないので。
	体験コーナーで煙を体験し、前がほとんど見えず、背を低くして壁沿いにと言われましたが、少しの時間でも出た時は、喉が痛く、本当になったときは大変だろうと思いました。救急救命の場所で応急手当を体験し、大変勉強になりました。何回も繰り返し行わないといざという時は間に合わないかと思えます。町会に帰り提案したいと思えます。	いろいろ防災グッズも変わってきています。これらのものも検討しなければ…	
	体育館の中で避難者の方々に対してのフォロー、対策が従来の方法より進化している。医者による巡回診療、柔道整復師によるエコノミー体操、歯医者による口腔ケア等。今後の避難所開設運営に反映していきたい。	校庭での消火訓練、煙体験等の避難訓練や、もし避難生活が始まったら必要知識としてのアウトドアクッキングやグッズ等が参考となった。防災から始まる時系列にレイアウトできていたら参加者は理解が深まったことでしょう。	多くのブースを配置して各コーナーごとのコンセプトをまとめていた。
	・煙体験は周りが全然見えないので、本当ならパニックが起こる。 ・身近なもので救命救急は、頭や腕のけが・出血等の応急処置(新聞紙・本)を教えていただき、大変役立ちました。傘などの添え木にするのも参考になった。(いつもゴム手袋は持参している)ネクタイや紐なども普段持ち歩くと良いと思った。		

# 中原区総合防災マップづくり部会報告

第6期中原区区民会議 中間報告書

## 提案Ⅱ 中原総合防災マップづくり

### 解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 情報弱者の存在

### 課題解決の方向性

- 平常時の防災意識啓発
- 災害前からの備え・対策
- 「互近助」関係づくり、情報共有

### 提案内容

#### 中原総合防災マップ（冊子）の作成

#### マップ編集の考え方・目的→具体的な掲載方法・内容案

#### ①自分の住む地域、周辺の情報を知り、理解できるマップ

- 「身近な地域レベルの地図」を掲載
- 書き込み可能な地図や欄を掲載

#### ②既存の多様なマップ・資料を一括化、凝縮したマップ

- 特に必要な情報を抽出
- 色分け等でわかりやすく提示



中原区防災マップ

#### ③地域や家庭でカスタマイズ・活用できるマップ

- 付箋や書き込み可能なシールなどを盛り込む
- 「無事ですカード」（提案Ⅵ）を切り離し形式などで盛り込む

#### ④「日常からの備え」「災害発生時の対応・行動」のガイドとなるマップ

- 帰宅支援マップや避難生活に役立つコラム等を掲載
- 災害への備え、災害発生時の行動に資する情報の厳選と掲載

#### ⑤誰にでもわかりやすく、使いやすいマップ

- イラストなどで視覚的にアピール
- 文字はできるだけ大きく、少なく、読みやすい文章
- 「やさしい日本語」による表記、多言語表記等の導入
- 索引機能の導入…困り事や知りたい情報からの検索

### 今後の検討課題

- ①サイズ・形式…地図重視（A4版）、持ち出し重視（ハンドブック版）など意見
- ②別冊…無事ですカード、付箋やシールなどの別冊としての製作など

### 担い手（取組の主体と役割等）

- 区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、自治会町内会、市民活動団体・個人
- 役割：マップの活用など
- 行政…役割：マップの企画・編集・発行・配布など

## 提案内容の反映の方向性の確認

### 提案① 自分の住む地域、周辺の情報を知り、理解できるマップ

- 書き込み用「地域マイマップ」を掲載予定。（自宅・防災資源・危険箇所、通勤通学避難ルートを書き込み、災害時の安全な行動ルートを決めておく。）

### 提案② 既存の多様なマップ・資料を一括化、凝縮したマップ

- 避難所・倉庫、給水拠点、病院、警察消防、緊急交通路、学校・幼稚園等の災害時に必要な情報を抽出。
- 自主防災組織エリア等を色分け表示。各種ハザードマップでは災害レベル別の色分け（浸水深、浸水時間等）

### 提案③ 地域や家庭でカスタマイズ・活用できるマップ

- 「地域マイマップ」の使い方の説明を掲載する方向で検討。
- 「無事ですカード」（切り離し形式）を掲載予定。

### 提案④ 「日常からの備え」「災害発生時の対応・行動」のガイドとなるマップ

- 広告空枠を活用したコラム掲載を検討。
- 備え&災害時行動情報の網羅的な冊子「備える。かわさき」を掲載。

### 提案⑤ 誰にでもわかりやすく、使いやすいマップ

- わかりやすい文字表記等の検討。
- 多言語表記は見やすさ等の問題もあり、別途作成等、今後の課題。
- 「備える。かわさき」はイラストを多用するなど、見やすさ等を考慮し、リニューアル済。

### サイズ・形式等について

- 携帯性と地図面を考慮し、A4版（見開きA3横）で作成。
- バラバラの情報を「この一冊でOK」というコンセプトで作成（「無事ですカード」は表紙裏面）。

## 防災マップ部会における委員意見

### ◇コラムの掲載内容※

- ・中原区における外国人の人口等の情報
- ・障害のある方への避難所で必要な配慮などの掲載
- ・コラムの目次掲載 等
- ◇「無事ですカード」の掲載内容やカードの素材
- ◇重要な見出しや主要な拠点施設の英語併記や漢字のふりがな表記、アイコン等の活用
- ◇SOSカードの導入
- ◇インターネット上の情報へつなげる QR コードの掲載、さらに音声案内等への誘導
- ◇AEDの設置や子ども110番等、商店街の取組情報の掲載
- ◇章ごとのインデックス化や必要なページが探しやすい工夫
- ◇よく読んでもらえるよう区民への働きかけの方法
- ◇区内企業等への配布や啓発

### ※コラム掲載位置例（広告空枠の活用）



# 中原区総合防災マップの作成イメージ

## 特徴

- 各局が発行する各種防災マップを「中原区総合防災マップ」として一元化。
- 中原区の防災情報は「この1冊でOK」をコンセプト。
- 区内の全世帯に無料配布。
- 企業との協働による作成。

各種防災マップ

防災啓発情報

中原区  
総合防災  
マップ  
(表紙)



防災啓発情報 (総務企画局)



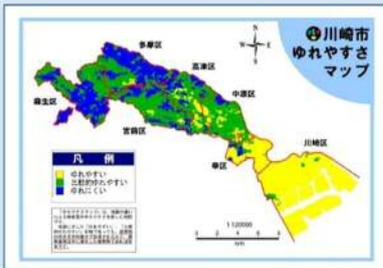
洪水ハザードマップ (建設緑政局)



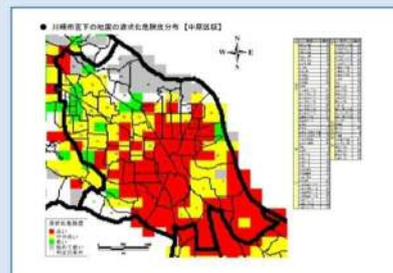
中原区防災マップ (総務企画局)



土砂災害ハザードマップ (まちづくり局)



ゆれやすさマップ (まちづくり局)



液状化マップ (総務企画局)

## ○掲載予定マップ一覧

マップ名称	用途・掲載の趣旨
地域マイマップ 【新規作成】	各種防災マップを参考に自分の地域の防災資源や危険箇所、通勤通学避難所ルートなどを書き込むことができる。
備える。かわさき	災害への対策・備え、災害発生時の対応のほか、防災に関する様々な情報や制度等について掲載しており、いざという時に適切な行動をとり、自分や家族、生活を守るための行動を知る。
中原区防災マップ	区域の防災資源概要（避難所、広域避難場所、給水拠点）を一目で確認する。
洪水ハザードマップ	区内の洪水危険箇所を把握し、避難場所・ルート・行動を事前に決める。
土砂災害ハザードマップ	区内の土砂災害危険箇所を把握し、避難場所・行動を事前に決める。
津波ハザードマップ	中原区は該当ないが、避難時における事前把握の必要あり。
火災延焼	出火防止、初期消火の対策強化、エリア内の迂回ルート検討の必要あり。
建物倒壊	エリア内の迂回ルート検討の必要あり。
ゆれやすさマップ	大地震の建築物被害は地盤だけでなく、建築物の構造・形状の影響が大きいため、耐震診断・改修助成制度等を活用して、建築物の耐震性向上を意識してもらう。
液状化マップ	「備える。かわさき」に縮小図を掲載済。

## &lt;使い方イメージ&gt;

